



すこやか通信

嚥下障害

衣笠病院 耳鼻咽喉科 主任医長 仁保達夫



食事をとるという行為は我々が生まれてからすぐに始まります。生物本来の目的は必要な栄養や水分をとるためのものでありますが、次第に人生の楽しみの一つとなっていくます。飲み込むことを我々は無意識に行っていますが、突然もしくは徐々にこの運動（嚥下運動）が障害されることがあります。脳梗塞などで動きが悪くなったり、炎症や腫瘍でのどが狭くなったり、年齢とともに徐々に力が弱くなっていったり、その原因は様々であります。そして、うまく飲み込めないことから脱水、栄養障害、誤嚥性（嚥下性）肺炎などが引き起こされ、全身状態をさらに悪くする要因となります。

寝た状態でいきなり口の中に物が入ってくるとむせ込んでしまうように、意識状態の悪い方も誤嚥の危険が高くなります。また、脳梗塞後の麻痺、拘縮や加齢性の円背など、姿勢が問題となるケースもあります。よって、嚥下障害に対しては口やのどだけではなく、全身的な評価が必要となります。耳鼻咽喉科では嚥下障害に対する評価を専門的に行うとともに、姿勢や食べ方、食事の形態の工夫に対するアドバイスを行うことも出来ます。お困りの方はぜひご相談ください。



睡眠時無呼吸症候群

ゆき呼吸器内科クリニック

蜂須賀 久 喜



睡眠時無呼吸症候群とは、大きいびきと、睡眠中に何度も呼吸が止まる病気です。医学的には、10秒以上呼吸が止まる「無呼吸」と呼吸が弱くなる「低呼吸」が1時間に5回以上繰り返される状態を言います。日本での潜在的な患者数は約200万人以上と推定されていますが、治療している人は1割程度です。重症の無呼吸を放置していると、心筋梗塞や脳梗塞等発症して死亡するリスクが健常人の約3倍というデータがあり、放置すると命に関わる可能性があります。

この病気では、睡眠中の繰り返す無呼吸のため熟睡できず睡眠不足に陥ります。睡眠不足が続くと「日中の強い眠気」や「倦怠感」等が現れ日常の作業能力が低下することも多くあります。

睡眠時無呼吸症候群の治療は重症度に応じて治療が選択されます。軽症から中等症の場合には主に「マウスピース」が用いられます。中等症から重症の場合は、主に「CPAP（経鼻的持続陽圧呼吸）療法」が行われます。

夜間「大きいびき」を指摘されている人、「日中の強い眠気」「夜間頻尿」はこの病気の可能性があるため、専門的に診療している医療機関への受診をお勧めします。





横須賀市医師会の活動

20歳を過ぎたら子宮頸がん検診を！

横須賀市医師会子宮頸がん検診担当理事
後藤産婦人科医院 院長

後藤 誠



女性が命を守るだけでなく、子宮を残して妊娠能力を保つため必要なことは何でしょう。それは20歳を過ぎたら子宮頸がん検診を受けることです。

子宮頸がんは子宮頸部（子宮の下3分の1）にできるがんで、セックスによって感染するHPV（ヒトパピローマウイルス）が発症に深く関わっています。日本で1年間に新しく子宮頸がんと診断される女性は12500人、死亡者数2800人です。2000年以降急激に増加しており、特に20～30歳代での発症がとても増えています。理由はセクシャル・デビュー（最初の性交渉）が10代後半と若くなりHPVに感染する年齢が低くなったためです。

子宮頸がん検診は、まず腔鏡を腔内に挿入して子宮頸部を観察します。次に細胞診です。ブラシやヘラなどで子宮頸部を優しくこすり、細胞を採取します。ほとんど痛みは無く、短時間ですみます。正しい判定のために、月経中と月経直後は避けて下さい。セクシャル・デビューの3年以内または20歳になったら子宮頸がん検診を受け始めましょう。早期で見つければ、進んだがんに進行するのに数年以上かかるので、早期治療で子宮を残せます。



横須賀市救急医療センター



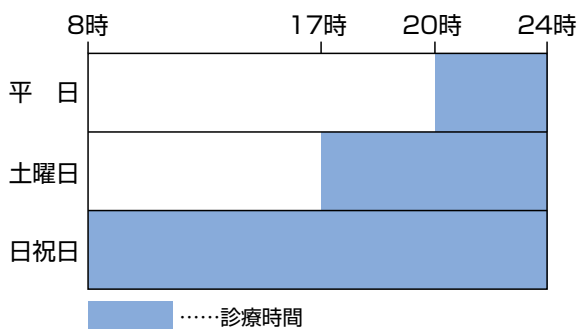
診療科目 内科・小児科・外科

〒238-0005 横須賀市新港町1-11

☎824-3001

横須賀市救急医療センターは、横須賀市医師会が管理・運営をしております。
横須賀市医師会では、市民の皆様安心していただける
質の高い医療を提供しております。

診療時間



年末年始 12月29日16時～
1月4日8時まで24時間診療

案内図



横須賀市医師会は、市民の皆様により良い医療を提供できるよう

これからも努力していくつもりでありますので、

よろしくご支援をお願いいたします。

詳しいことは横須賀市医師会ホームページ

<http://www.yokosukashi-med.or.jp>

にアクセスしていただきますようお願いいたします。

横須賀市医師会
モバイルサイト



<http://yokosukashi-med.or.jp/mobile/>

一般社団法人 横須賀市医師会

〒238-0005 横須賀市新港町1-11 TEL 046-822-0542 FAX 046-823-4534